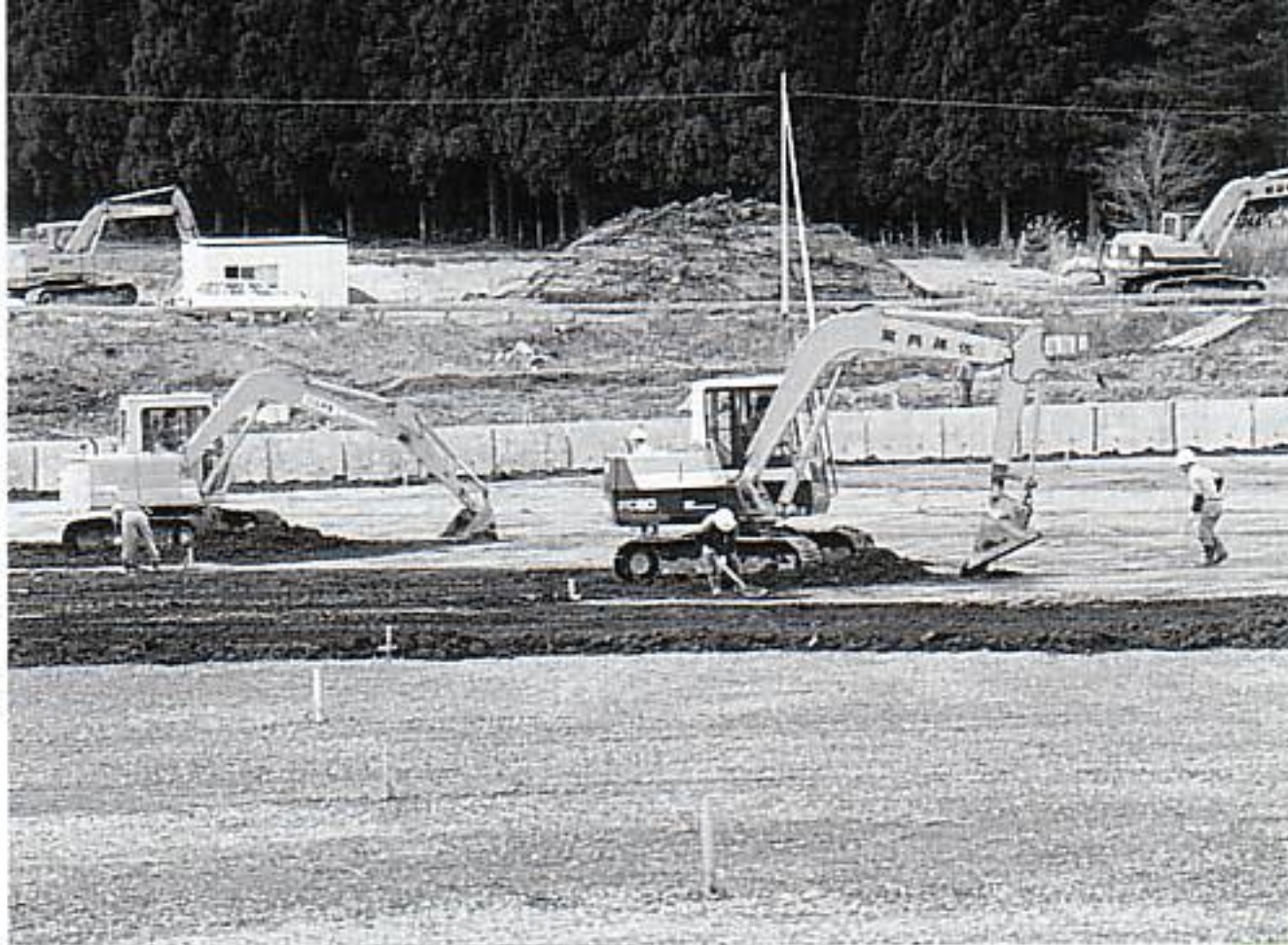


建設事業特集



▶ 工事中の野球場（元町民グラウンド）

広報

ひがしゆり

豊かな自然みんなで 拓く町 伸びる町

1989=12
No.417

平成元年12月1日発行・毎月1日
編集・発行 / 秋田県東由利町役場総務課

▶ 完工した県道楢淵横渡線・横渡り黒沢トンネル間



▲ 完成した八塩いこいの森のつり橋

- 建設事業特集1・施設整備……………2
- 建設事業特集2・道路整備……………4
- 第3回産業文化祭……………6
- 東由利この一年
- 「今年の主な出来事」……………8
- 研修日記・ヨーロッパ見聞録抄……………10
- まちかどトピックス……………12
- みんなのひろば……………14

平成元年。町は建設ラッシュ

野球場は来春完成

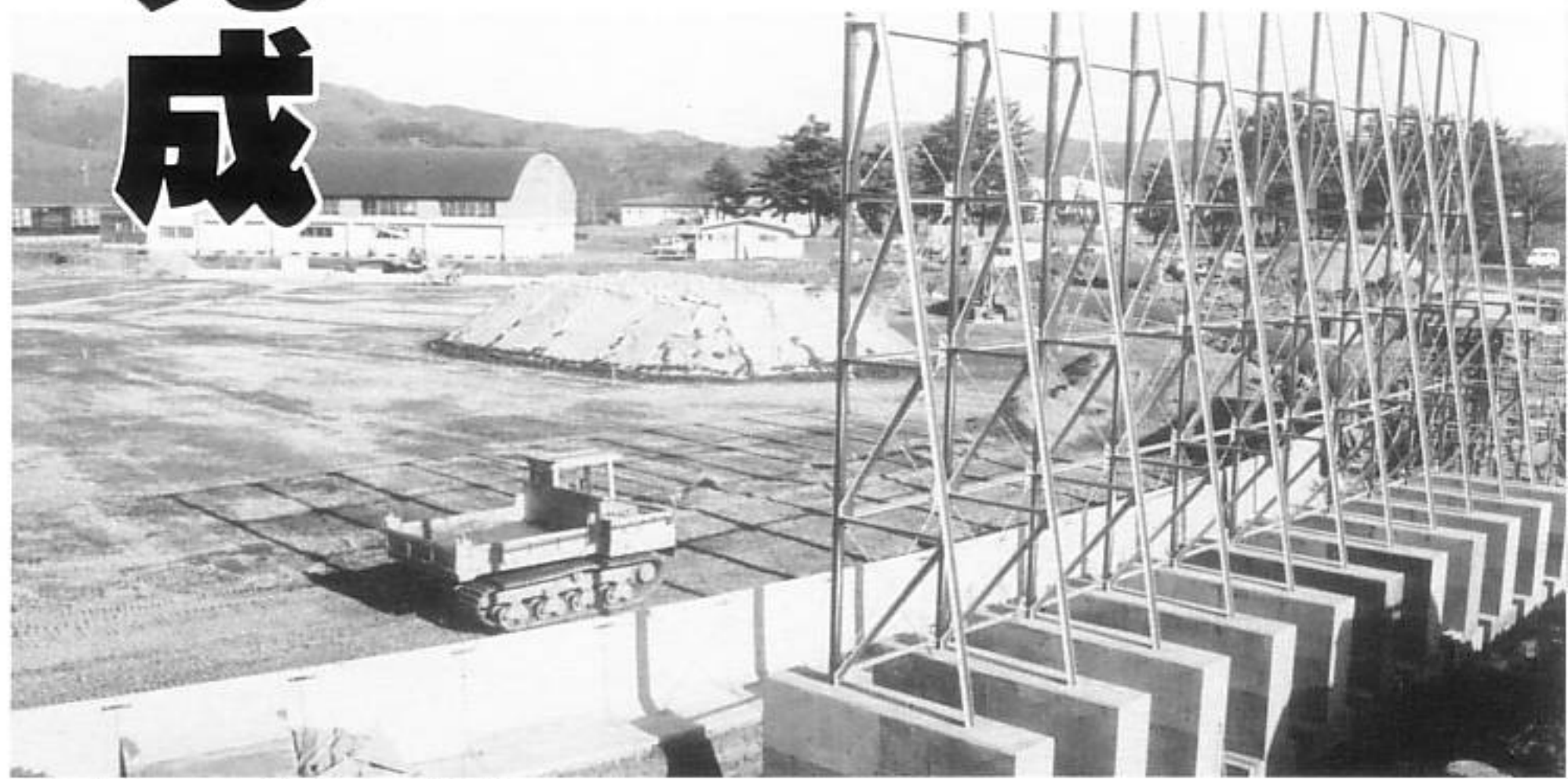
平成元年度もスタートから八カ月が経過し、計画された町の事業はそれぞれ順調に進んでいます。

特に、住み良い町の基盤をつくる建設事業では、本格的な降雪を前に急ピッチで工事が進められています。

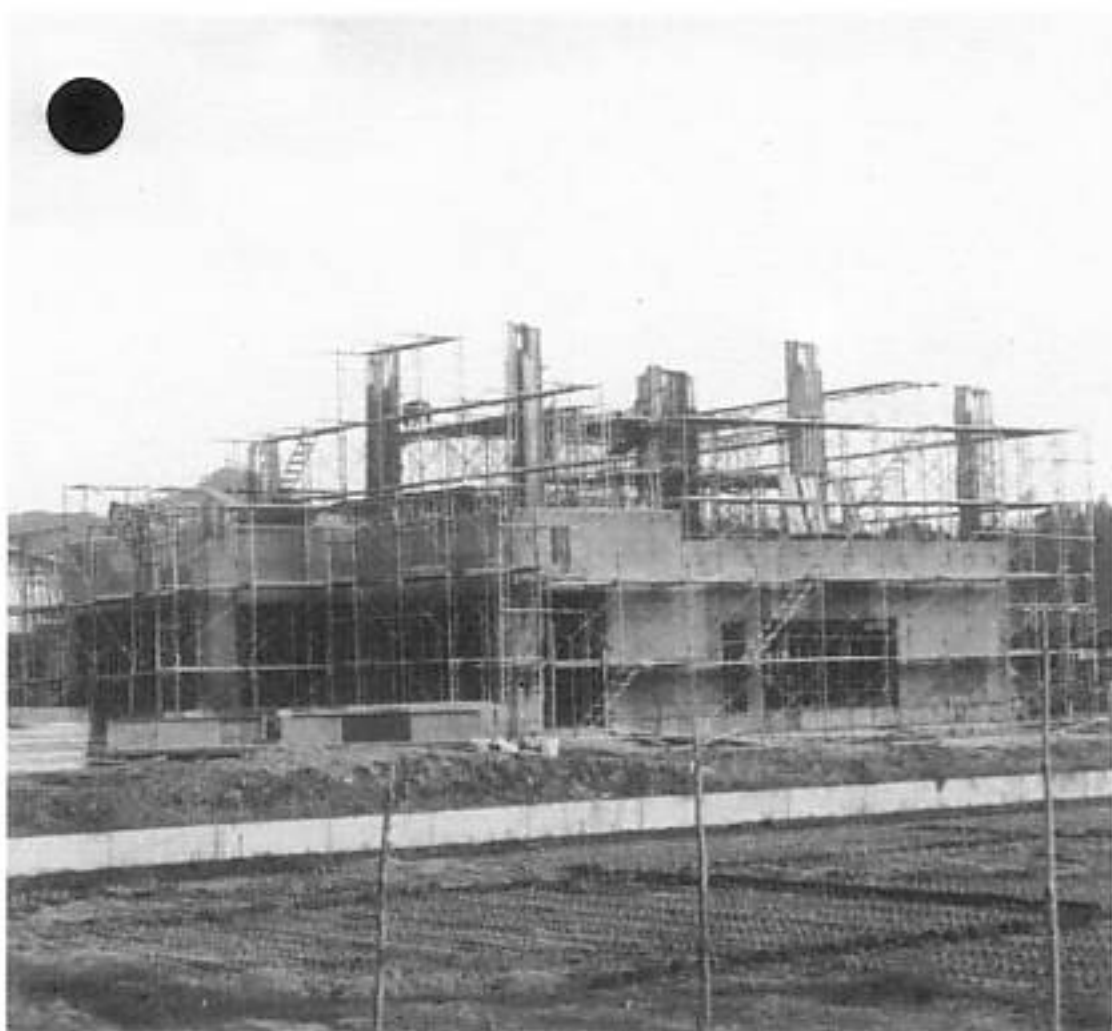
今号では、今年の建設事業にスポットをあて、施設と道路整備の現況をレポートしてみました。



▲八塩いこいの森に完成したつり橋



▲年度内にはほぼ完成する野球場



▲来秋オープン予定の「玉米館」(仮称)

▶ 本工事が完成した火葬場





小松忠亮氏

小松氏は昭和四年玉米村役場に奉職、豊富な経験と優れた識見をもって地方自治の発展に貢献し、同二十一年には首長に認

められ助役に就任しました。そして昭和三十年七月玉米・下郷両村の合併により助役を退いたあと、同三十一年一月再び東由利村助役に就任、以来同四十三年の任期満了による退任まで村の吏員として十四年八ヵ月、助役として二十年二ヵ月在職し、

また小松氏は村野球協会の草分けを担い、昭和三十四年から十二年間同協会会長を務められたことは広く知られるところです。

平成元年秋の叙勲で、元東由利村助役の小松忠亮氏（館西・七九歳）が勲五等瑞宝章を受けられました。

小松忠亮元助役に勲五等瑞宝章

村政の円満な運営はもとより五代の村長の良き補佐役として尽力し、地方自治の伸張と住民福祉増進に尽くされました。

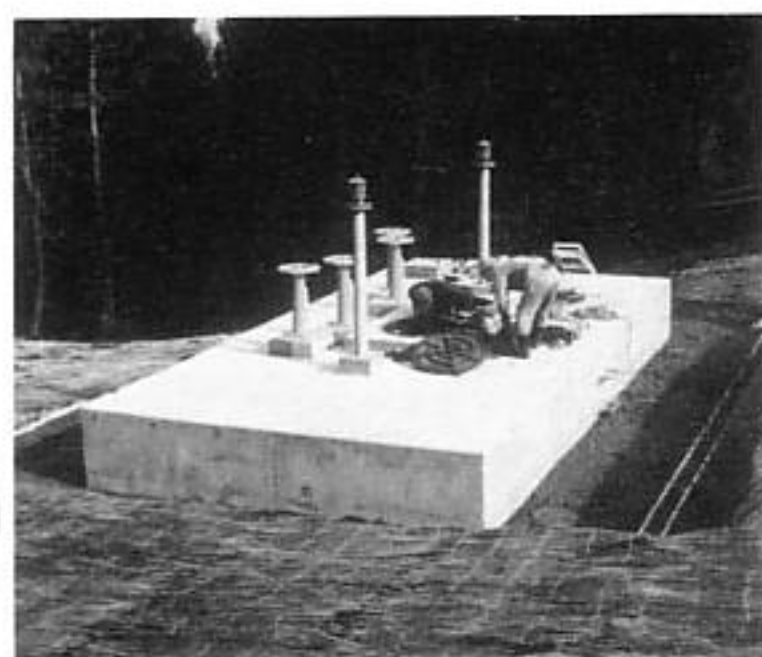
完成した町民憲章碑（左）と東由利町史（右）

つり橋が完成し ダム一周が実現

八塩いこいの森に今年、第三期山村振興整備事業でつり橋、トイレ、炊事場、外灯、釣場を、ふるさと創生事業で給水施設、駐車場、あずま屋をつくりました。

つり橋は八塩ダム上流に先月完成、連絡道路も完成し待望の八塩ダム一周が実現しました。

野球場は 年度内にほぼ完成



八塩山のふもとに新設した配水池

火葬場は 来夏から供用

火葬場は既存施設のそばに七月下旬から新築しており、先月まで本体工事が完成しました。今後は駐車場や道路などの外構工事を来年度にまたがり実施、

来夏から供用

度内に完成する予定です。また下郷分校わきには連絡道路を新設中で、これは二カ年継続事業で工事を進めます。全体が完成するのは来年七月ころで、町社会人野球大会はこの野球場でプレーができることになります。

来夏から供用

度内に完成する予定です。また下郷分校わきには連絡道路を新設中で、これは二カ年継続事業で工事を進めます。全体が完成するのは来年七月ころで、町社会人野球大会はこの野球場でプレーができることになります。

来秋オーブン

館合地区コミュニティセンターとして建設中の「玉米館」（仮称）は八月上旬に着工、現在コンクリートの打込み工事を進めています。同施設は二カ年継続事業で建設しており、本体工事を来春までに完成させ、外構などの整備が完了した来秋にはオープンできる見込みです。建物は鉄筋コンクリート二階建、延床面積四百二十六平方メートルで、一階が研修室、生活改善実習室、談話ロビー、二階が多目的ホール、小会議室となっています。

来秋オーブン

度内に完成する予定です。また下郷分校わきには連絡道路を新設中で、これは二カ年継続事業で工事を進めます。全体が完成するのは来年七月ころで、町社会人野球大会はこの野球場でプレーができることになります。

町民憲章碑と 東由利町史完成

町制施行十五周年記念事業として進めていた「町民憲章碑」と「東由利町史」がこのほど完成、十一月三日に祝賀会を行いました。（記事七面）



完成した町民憲章碑（左）と東由利町史（右）

道路整備

住み良い町の基盤は、やはり道路……

鉄道を持たない、車を唯一の交通手段とする本町にとって、国・県道をはじめ集落道の整備は町民の大きな願いです。

さて、今年はこの道路整備がどれだけ進んだでしょう。

毎年この時期お知らせしている「すすむ道路整備」ことしも由利土木事務所、町の建設課から取材してみました。

国道 バイパスが開通 大琴～舟木間は来秋完成

鉄道にかわる町の大動脈、国道一〇七号線の改良整備は、宿二・一キリが昨年からの一部着工、二年、奥ヶ沢工区（宿～奥ヶ沢）が昨年からの本格的な工事に入りました。完成は、一部一・二キリは来夏、残りは来秋になる見込みで、お盆ころに開通式を行う



開通した国道107号線バイパス（火葬場～大琴間）

予定です。
同工区本荘市山内まで、トンネル二カ所を含む全線の完成は、平成六年ごろになるものと見込まれています。

県道 田代地内が完成 須郷田～館合間は来年着工

仁賀保矢島館合線 羽後向田館合線

仁賀保町から矢島町、本町茶屋長根を通り八日町に至るこの道路は、須郷田～館合、沢中～大吹川、大吹川～須郷～茶屋長根間が未改良となっています。今年には須郷田～館合間で、昨年決定した基本ルート（計画路線）に基づき用地測量を実施、用地買収に向け準備を進めています。これらが順調に進めば、来年度には着工できる見込みです。

沢中～須郷間は現道を一部拡幅し改良・舗装しています。今年度は沢中～大吹川間約六八九メートルを改良・舗装、大吹川～須郷間約四七〇メートルを改良しました。

本町山崎から松柴を通り羽後町唐松に抜けるこの道路は、田屋橋の架け替え工事と一部改良・舗装工事が残されていました。今月中旬にすべて完成します。

山崎鴻屋十文字線



完成した田代地内の県道



工事中の田屋橋

1. 町道・農道

地区(路線名)	施工カ所	距離(m)	内 容	進捗状況
須郷田跡見坂線	館合新田	—	用地買収、補償	80%
金山線	沼	75	橋梁整備(35)改良舗装(40)	60
西山線	西山	250	歩道設置	80
台山2号線	台山	130	用地買収、補償、改良	60
両前寺線	両前寺	200	防雪柵	60
中学校線	台山	338	改良	0
大谷地線	大台	500	〃	50
蔵新田線	蔵新田	214	〃	100
喰沢線	館合新田	330	舗装	100
善徳線	善徳	714	〃	100
新町線	新町	100	〃	100
上野線	上野	—	調査、用地買収	40
中祝沢線	祝沢	197	舗装	100
両前寺湯出野線	湯出野	349	〃	100
後町線	真木田	390	改良	30
鳥居坂線	寺田	203	〃	100
中通地区	中通	1,057	集落排水	30
寺田湯出野線	寺田、湯出野	333	舗装	100
熊高沢線	石高	390	〃	100
山崎線	山崎	118	〃	100
浮蓋線	祝沢	147	改良	100
坪倉線	坪倉	1,010	〃	60
深山線	深山	366	〃	100
鞍骨線	鞍骨	390	〃	100
杉森線	杉森	834	〃	100
若林線	若林	300	〃	20
八沢木線	八沢木	390	〃(県営事業)	80
鳥台線	鳥台	100	用地買収(〃)	10

2. 林 道

地区(路線名)	施工カ所	距離(m)	内 容	進捗状況
矢走線	白ヶ沢	1,160	舗装	100%
〃	〃	1,000	改良	100
白ヶ沢線	〃	107	〃	100

すすむ

今年整備したのは田屋橋の架け替えと道路舗装三五〇以上のほか、すでに完成している松柴集落、羽後町間の現道の改良・舗装六五〇以上です。これらの完成により、昭和五十二年来二十二年ぶりで同線の改良整備にピリオドが打たれることになります。

横手東由利線

横手市から平鹿郡雄物川町水沢を通り本町祝沢、老方に至るこの道路は、祝沢、老方間の現道舗装を昭和五十九年までに完了。現在、期成同盟会による現地調査が行われるなど、新たな改良に向け準備が進められています。

神岡坂部横渡線

仙北郡神岡町から平鹿郡大森町坂部を通り本町中の沢、横渡に至るこの道路は、岩館地内の未改良部分の早期着工が懸案となつていますが、来年度にはルート(路線)を決定するため調査が行われることになっています。

檜淵横渡線

横渡から黒沢、若林を通り大内町檜淵に抜けるこの道路は、黒沢トンネル付近の二八〇以上が未舗装となつていましたが、八月までに完成、今後はトンネルの改良が課題となります。

町道等

今年は31カ所を整備 降雪期迎え工事急ピッチ

町道や農道、林道の整備は今年別表の三十一カ所で行われ、十一月末まで十五カ所が完成しました。このほか本格的な降雪前の完成を目指し、急ピッチで工事が進められています。

集落内の道路では熊高沢線、喰沢線、寺田湯出野線、善徳線などの舗装工事がすでに完成したほか、現在大谷地線、金山線などを改良工事中です。

八沢木線(高村)は昨年起きた土砂崩れで改良が遅れていましたが、今年度は集落内の約四百メートルを改良工事中です。

農道では、八塩ダムへの連絡道でもある深山線や宮の前と新処を結ぶ鞍骨線などが今年度予定の改良工事を終えたほか、現在坪倉線、若林線などを改良工事中です。

林道では矢走線の改良と舗装、白ヶ沢線の改良が今年度予定の改良工事を終えました。

ロータリー除雪車など増設



購入したロータリー除雪車と道路維持作業用トラック

今冬予想される大雪に備えロータリー除雪車一台を増設しました。これによりロータリー除雪車は三台になりましたが、一台は緊急時に備え役場に待機させます。

また今年にはクレーン付ダンプロトラックを購入、道路維持作業に威力を発揮しています。

第3回産業文化祭

好天に恵まれ、出来秋を喜ぶ



▲農産物などが展示されたメイン会場の健康増進センター



◀生涯学習活動の成果を発揮し作られた見事な焼きもの



▶農家の人たちが丹精込め作り上げた農産物の数々



▲町出身絵本作家・高橋宏幸氏作品の「つる女房」を公民館職員が館内に演示、好評を博す



▶農業近代化ゼミナールの皆さんによる恒例のもちつき大会。いつもほんとにごくろうさんです



▶キャベツ一個50円なり：超安値に客が殺到した出店

人出は4千人

第3回町産業文化祭が11月4日から二日間健康増進センターを主会場に開かれ、好天に恵まれ延べ4千人の入出でにぎわいました。今年の展示部門は農産物展、町内企業展、発明工夫展など二十数部門で、審査の結果下記とおり町長賞、農協長賞などが贈られました。

入賞者一覧 (敬称略)

一般展示物〈町長賞〉

畑作物▶金子 拓雄 (新町)
農産加工▶小松 憲司 (下小路)
果実▶小松 由佳 (新町)
工芸品▶小野 羊治 (須郷田)
花き▶佐々木精人 (大琴)
葉たばこ▶遠藤 辰雄 (野田)
米料理▶館西若妻会

同〈農協長賞〉

水稲▶畠山 俊雄 (寺田)
畑作物▶嶽石 忠司 (八日町)
〃▶金子 拓雄 (新町)
〃▶小笠原裕子 (蔵新田)
〃▶佐藤文一郎 (下小屋)
葉たばこ▶遠藤 辰雄 (野田)
〃▶小松 清和 (畑村)
〃▶高橋 貞 (館合新田)
花き▶佐々木精人 (大琴)
果実▶小松 ハナ (新町)
〃▶小松 由佳 (〃)
農産加工▶阿部 露子 (横渡)
〃▶高橋 シゲ (下小屋)
〃▶佐藤 トシ (〃)
〃▶畠山ヨシ (館合新田)
〃▶小松 典子 (畑村)
〃▶加藤 誠子 (湯出野)
〃▶小松 憲司 (下小路)
工芸品▶小野 羊治 (須郷田)

発明工夫展

町長賞▶八塩小学校
県知事賞▶佐々木晃子 (大琴三年)
発明協会秋田県支部長賞▶小松純子 (八塩一年) 佐藤央子 (同一年)

以下「金賞」受賞者

小松敦史 (八塩四年) 小松恵里子 (同二年) 伊東喜隆 (高瀬二年)
伊東裕美 (同五年) 梅津美穂 (大琴五年) 高橋達也 (高瀬三年) 高橋真之 (八塩四年) 高沢智幸 (八塩二年) 小松喜美 (同二年) 長谷山美穂 (同四年) 高橋元太 (同二年)

12月9日は障害者の日

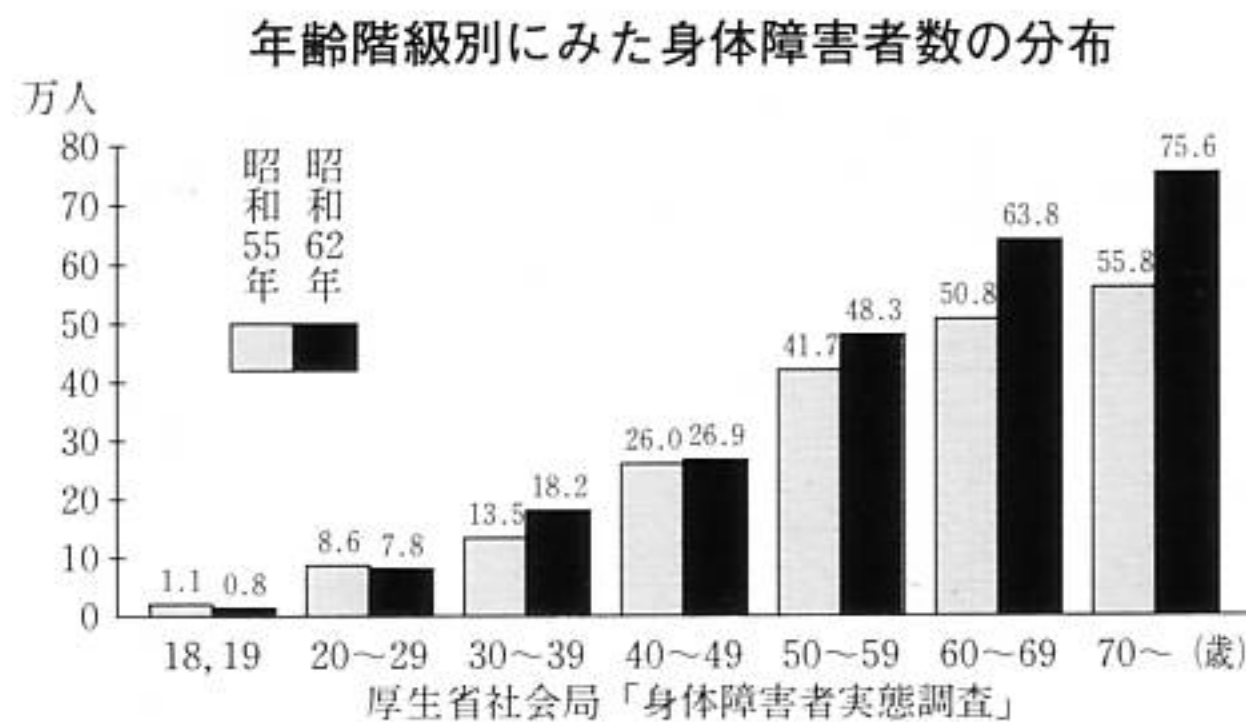
町民の二十人に一人は障害を持っています

現在、わたしたちの町には二百八十六人の障害者がいます。単純に計算すると町民約二十人に一人が障害者という割合になります。

障害者問題を考える際の重要な視点は、障害者の「完全参加と平等」です。これは昭和五十六年の「国際障害者年」のテーマであり、日本でも、翌年、その実現を目指して長期計画が策定され、各種の

障害者は二百八十六人

それでは、二百八十六人には、どのような障害を持つ人たちがいるのでしょうか。障害の種類、部



障害者対策が進められています。

この「完全参加と平等」の考え方は、世の中により理解されるようになってきましたが、しかしその一方で、障害者の問題は自分には関係がないと、無関心である人が少なからずいることも、また事実です。いまは障害を持たない人も、今後、予期せぬ病気や事故で障害者になるかも知れません。障害者が

位やその程度にはさまざまなものがありますが、次のように大別されています。

- 身体障害者……二百七十人
 - 精神薄弱者……十六人
- その中で、身体障害者を障害の種類別に見てみると下の円グラフのようになります。

進む障害者の高齢化 介護家族も高齢化

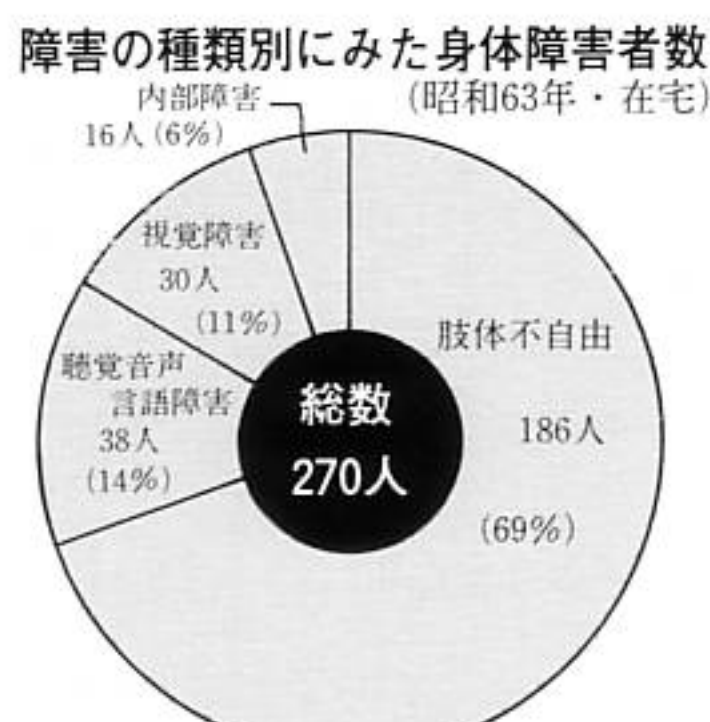
わが国の身体障害者の数は二百七十万人といわれています。

身体障害者を十歳ごとの年齢階級別に見たのが上のグラフです。まず目につくのは、全体の人口構成の高齢化が著しいことです。

昭和五十五年当時は、七十歳以上の障害者は二十代の六・五倍程度でしたが、昭和六十二年になる

不平等な扱いを受けることのない社会生活、あらゆる面で他の人と同じように生活できる社会を、みんなの力で実現していくことが大切です。

そのために、わたしたちは、障害者の問題を自分自身の問題としてとらえ、一人一人が障害者に対する正しい理解と認識を持つようになりたいものです。



と七十歳以上は二十代の約十倍と大きく増えています。

障害者人口の高齢化というのは、障害者のみならず、障害者を主に介護している家族の高齢化ということでもあります。このことから、障害者問題がその本人と家族だけの問題ではすまなくなっていることが分かります。

三氏が晴れの受賞

町功労者表彰式並びに町民憲章碑

除幕・町史発刊記念祝賀会を開催



町功労表彰式で三氏が晴れの受賞

しく思う。これを一つの区切りとして、今後の町づくりに更に協力をお願いします」と述べました。引き続き畑山教育長が町史編纂について経過を報告、来賓祝辞のあと受賞者を代表し小松順之助氏があいさつを行いました。このあと祝賀会に入り、三氏の受賞と、町民憲章碑の完成、町史の発刊を心行くまで祝い合いました。

平成元年度町功労者表彰式並びに町民憲章碑除幕・町史発刊記念祝賀会が十一月三日、関係者百二十人が出席し有鄰館で行われました。表彰式に先立ち、町制施行十五周年を記念し朋楽荘構内に建てられた町民憲章碑の除幕式が行われ、畠山町長、小野町議会副議長、小松町教育委員長のほか二保育園児が除幕しました。引き続き有鄰館で表彰式が行われ、先に表彰者選考委員会で選ばれた小松順之助氏、川尻幾郎氏、進藤新氏の三氏に畠山町長が表彰状と記念品を贈りました（受賞者は広報十一月号で紹介させていただきました）。また式辞では畠山町長が受賞者のこれまでの功勞に対して敬意を表しお礼を述べたあと、「町制を施行して十五周年の節目の年にあたり町民憲章碑の建立と町史の発刊をみることでできたことを大変喜ば

東由利、この一年

今年の主な出来事

今年も残すところあと一カ月となりました。

“平成元年”は、あなたにとってどんな年でしたか？

「子どもが生まれた」「家を建てた」「病気で入院した」など、さまざまなことがあったと思います。

さて町はというと、なんといっても若人が長年待ち望んだ野球場が着工になったことではないでしょうか。それに、十五年ぶりに農業委員の選挙も行われました。

さて、ここでは毎年のことですが、今年一年を広報紙の記事の中で振り返ってみようと思います。主な出来事を月ごとに整理し、さらに大きな出来事を「五大ニュース」として写真で拾ってみました。

今年一年を振り返り、明るい新年をお迎えください。



野球場の建設はじまる（写真はスタンド工事の地鎮祭・9/5）



「東由利町史」を発売

1

6日・消防出初式……六十一人に表彰状、感謝状贈呈。
7日・昭和天皇崩御……役場に「天皇陛下崩御弔意記帳所」を設置。町民多数が記名。

●全消防車に防災専用の無線機設置
●館合地区流雪溝整備事業……下小路～八日町間完成。

2

15日・第一回婦人シンポジウム……二百人参加。
15～16日・第五回大平雪まつり……積雪五センチの雪不足。好天に恵まれ二千人が入場。

●東由利分署で救急車更新

3

7～12日・特産物フェア……東京・三越池袋店で「東由利町物産と秋田うまいもの会」と銘打ち町の特産を即売。
28日・畜産講演会……社団法人中央畜産会指導部長内藤廣部講師の丸山伸氏委嘱。

●信氏が「国際競争時代を勝ち抜く肉用牛経営について」と題し講演。二百余人参加。
●良質米生産技術指導員設置……指導員に農村通信社稲作部講師の丸山伸氏委嘱。

4

23日・農業委員選挙……定数十人を一人上回る立候補で十五年ぶり実施。投票率八七・六六％。

●町の特産にフランス鴨……八塩バルバリー（長谷山憲一代表）が養殖開始。

●町保健婦伊東志津子さんが社会福祉法人恩賜財団母子愛育会会長賞受賞
●町教育研究所に専任教諭配置……畠山輝雄教諭赴任。
●八塩いこいの森に管理事務所完成

5

11日・温泉探研修会開催
13日・老方地区で大火防止訓練実施
13～14日・第五回黄桜まつり……六千五百人入場。二代目ミス黄桜に猪股友子さん。

30日・出羽丘陵開発記念碑除幕式並びに事業参加者懇親会開催
●農業委員会長に遠藤平輔氏就任

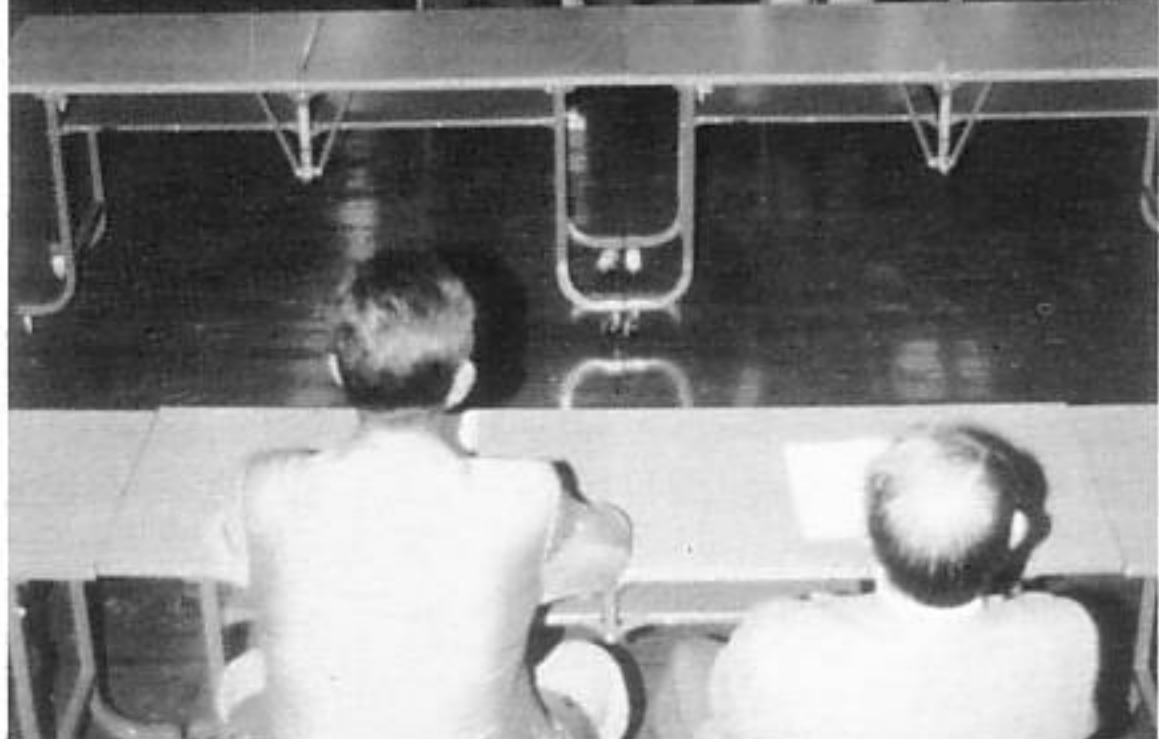
6

1日・郡市小学校陸上競技大会男子四百リレーで高瀬小優勝
19日・出羽丘陵農用地営農振興連絡協議会発足……会長に畑山克司さん。

5大ニュース



良質米生産技術指導員を設置 (写真は指導にあたる丸山指導員・中央)



15年ぶりに農業委員の選挙を実施 (写真は役場会議室で行われた開票)



ふるさと出会いの森事業を実施



良質米生産技術指導員を設置
15年ぶりに農業委員の選挙を実施
野球場の建設はじまる
ふるさと出会いの森事業を実施
「東由利町史」を発刊

(広報掲載順)

7

20・21日・町敬老会……三百七十三人出席。二十四人に長寿祝い金贈呈。
22日・第三十四回町畜産共進会……八十頭出陳。三十頭を多産功労牛として表彰。

16日・町消防訓練競技大会……総合優勝は五分団。
17日・東由利中学校舎大規模改修工事着工
23日・参議院選挙実施……投票率七九・二八割。
23日・火葬場建築工事着工
26日・交通安全町民大会開催……県警音楽隊来町。
30日・川のクリーンアップ実施……千五百人参加。
●町農業近代化ゼミナールが最優秀グループとして知事賞受賞

8

3日・本荘市由利郡消防大会で二部門を制す……ポンプ車操法、小型ポンプ操法で優勝。総合で準優勝。
3・16日・航空防除実施
15日・町成人式……七十二人対象。五十七人出席。
15日・第五回ふるさと交流……六十余人参加。
15日・蔵地区で「第一回日本一大いちようまつり」開催
25日・高瀬小が全国少年少女リレー競技大会出場……十位。
●野球場建設工事着工

9

7日・全県消防訓練大会で第三位入賞
13日・健康推進大会並びに愛育会十五周年記念大会開催……保健予防事業功労者など表彰。
29日・ふるさと出会いの森抽選会……百六十人の応募者の中から共同経営者として八十五人を抽選で決定。
●ボツメキ水源池にトイレ、駐車場完成
●農協低温農業倉庫完成

10

7日・都市小学校卓球大会で大琴小が初優勝
22日・東由利中設立二十周年記念式典……二百三十人出席。
29日・みどり保育園創立三十周年記念式典……百六十人出席。

11

3日・町功労者表彰式並びに町民憲章碑除幕、町史発刊記念祝賀会……小松、川尻、進藤の三氏が受賞。町民憲章碑、東由利町史完成。
4・5日・第三回産業文化祭……好天に恵まれ四千八人入場。
●八塩いこいの森につり橋完成

研修日記・ヨーロッパ見聞録抄(1)

町長 畠山 亮二郎

太陽の国スペインから経済大国西ドイツへ

十二日間五カ国研修の旅。自由世界の先進国を学ぶ。

◎太陽が産業というスペインの新しい息吹。

◎ヨーロッパの経済大国西ドイツの質実剛健の心意気。

◎伝統の農業国フランスの産業と文化・芸術。

◎世界の永世中立国を誇るヨーロッパの小国スイス。

◎自由世界のリーダーシップの誇りを堅持するイギリス。

それぞれの国柄、特徴を踏まえながら自らの目と耳で研修できたことを非常に幸せに思う。以下研修日記の中から拾いあげたメモを紹介し、レポートといたしたい。

スペインの新しい産業は太陽

■九月三十日(土)晴 ー昨日まで

続いた連日の長雨が今朝は快晴と変わる……ヨーロッパ研修の旅の幸先がよい。成田国際空港からエールフランス機に乗り込み日本を離陸。シベリヤ上空を通過。バルト海、北海を臨みながら、待望のヨーロッパ大陸上空までおよそ十二時間。パリ郊外シャルルドゴール空港に降り立ち、ヨーロッパの第一歩をしるす。パリ時間で九月三十日午後五時四十分。約八

時間の時差であった。

パリからマドリッドに向かう。

パリ旧空港オリ国際空港からイベリヤ航空でスペインの首都に。マドリッドは午後十一時。夜が深まっていたが、市街はまだ夜を楽しむかのように人出が多い。特に

土曜日の夜は深夜まで楽しむのがスペインの風習という。夜の街頭から陽気な国柄のスペインをかいま見ることができた。ホテル・トリパラチオンでヨーロッパの第一夜を明かす。

■十月一日(日)晴 ー朝六時に目

を覚ます。外はまだ暗い。七時ころにやっと夜がしらむ。日本より夜明けが一時間も遅い。日曜日のためプラド美術館は午

前中だけとのことで予定が変更となり、八時三十分には朝食をとる。

ヨーロッパの朝食は軽い。パンと野菜、それに果物(オレンジ、リンゴ)とコーヒー。ヨーロッパではこれが普通という。レストランで朝食をとりながら、日本人の観光客の多いことに驚く。若いグループ、若いカップル、婦人団体ありといった具合。プラド美術館の開館は一八一九年。フェルナンド七世の統治下といわれる。世界で最も重要な美術館のひとつ。ゴヤの「裸体のマハ」をはじめスペイン王室コレクション諸作品。グレコ、ゴヤ、ベラスケス、ムリーリヨ等々の名作がずらり。

ドン・キホーテとサンチヨ・パンサの騎馬像で有名なスペイン広場で記念撮影し、その後スペイン王宮を見学。一七三八年から約三十年かけ完成したヨーロッパ屈指の壮大な宮殿。「王座の間」「陶器の間」など爛爛豪華。平成天皇が皇太子時代、この宮殿で晩さん会が行われたという。昼食は中曽根元首相も訪れたというレストラン「アルベフェラ」で。夕食は夜を彩るフラメンコを見ながら楽しむ。

■十月二日(月)晴 ースペインの人口は三千八百万人。だがスベ

インの年間観光人口は五千万人という。スペインの産業は今新しい方向に変わりつつある。ースペインの産業で今重要なのは「太陽」だーといわれている。太陽の国スペイン。リゾート産業、観光をメインに国づくりが変わろうとしている。新しい息吹を見る。

この国は小麦とオレンジが主産地の農業国。小麦は生産の二十パーセントを輸出しているという。だが広漠たる耕地はやせており、収量は他国の比ではないようだ。オリーブの果樹園が続く。農村地帯を西に八十キロ。陶器の街のタラベラを訪れる。世界に通じるタラベラ焼。工房を訪れると「ヤポン(日本)はお得意様……」高島屋と取引していると工場長上機嫌。

マドリッドの南約七十キロにあるトレドは中世スペインの首都。タホ川に囲まれた天然の要塞都市。海拔千三百三十メートル。太陽のもと黄土色に輝く高地は今なお中世の代を思わせる街並み。幾何学的な堂々たる建物アルカサル。ひととき高くそびえるカテドラル。城壁、門、迷路。その歴史の一時代には、ユダヤ教、回教、キリスト教それぞれの異教徒が寛容に共同生活した町。江戸の初期、ローマを訪れた

支倉常長もここまで足をのびたという。歴史の感動に浸る。スペインの歴史の歩みを見るかのような町。スペインを訪れてよかったとつくづく思った。

質実剛健の心意気高い西ドイツ

■十月三日(火)晴 ーマドリッド空港からイベリヤ航空で西ドイツへ。機上からフランスの広大な農耕地を眺め、南方に連なるアルプス峻峰を見おろしながら午後一時三十分ころ、フランクフルト空港に降り立つ。西ドイツはスペインと違い緑豊かな沃土であった。ヨーロッパの経済大国西ドイツの土を踏み、心なしかライバル意識でものを見るようになった。フランクフルトから南へ……すばらしい高速道路を一路九十五キロハイデルベルグへ。途中農村集落に寄りそ

うように立地されている工場。農工一体、農工併存の地域づくりがどこまでも続く。西ドイツに負けたノースが質実剛健の国づくりがすばらしい。歴史と学問の町ハイデルベルグにつく。古城の町。その昔フランス軍に壊されたままの古城から臨むハイデルベルグの街は、ライン(支流)の流れに映えて美しい。周囲を囲む「黒い森」といわれる森林地帯は、まさに西ドイツ治国の原点を誇るかのよう。夕刻六時三十分ころリゾートの町バーデン・バーデンに着く。

(次号へ続く)



宗教の要塞首都トレド(スペイン)を訪れる
ーオリーブ園が美しく続くー

飲酒運転の恐怖

トラが動かす凶器



年末・年始……飲酒運転の危険は知っているのに、ついハンドルを握ってしまう人が増える時期です。なぜハンドルを握ってしまうのでしょうか……アルコールが体に与える影響を見ながら考えてみましょう。

おちよこ一杯で理性が失われる

お酒を飲んで、酔った人をよく「トラになった」といいます。

この言葉は、ある意味で正しいのです。アルコールには、脳を麻痺させる働きがあり、その中でもまっさきに麻痺する脳の部分が、人が人であるために最も

お酒に強い弱いというのは理性があるかないかではなく、脳が、アルコールに強い弱いかの違いなのです。

お酒をほんの少しだけ飲んだ程度では、運転する能力に限って言えば、まだ残っています。しかし、運転に必要な判断力や物を見て考える力はすでに失っています。飲酒運転はいけないと知っていてもそれを抑制する理性がもうないので、飲酒運転をしてしまうのです。

ビール一本でも運転に悪影響

健康な大人は普通、お酒を一合くらい、ビール一本程度では「ほ

ろ酔い」といわれる状態になります。こうなると、理性を失うばかりか、運転に必要な能力にも影響が出てきます。

例えば、外の刺激にぼんやりし始めて、目に見えているものにだんだん反応しなくなります。加えて、その反応にも間違いが多くなっていくようになります。

一つのミスも許されない運転が、こんな状態で行われるのは、大変危険です。

まだアルコールの入っていない、理性があるときに、お酒を飲んだらどうやって帰るのかを決めておき、そのとおりにすることです。そして何より、酒の席には車で出かけることができません。

東由利歴史散歩

舟木の女清水 ・男清水

神秘的な湧き水

文・畑山昭一



女清水の水源池

大琴から上舟木に行く途中の山裾に「へぐり」と呼ばれている所があり、昭和三十年まで「へぐり鍛冶さん」が仕事をしていました。その脇の林道から一き上った杉木立の中に、女清水と男清水と言われている湧き水があり、湧き出る様子は神々しく、神秘的な感じがします。この二つの清水の周辺から、縄文時代後期のものと思われる土器片等が発掘され、人々が生活したと考えられています。



女清水神社

女清水は緩やかな山の面が八十畝四方ほどの、平場に移る場所にあつて、清らかな水がモクモクと湧き出ています。水面はおおよそ十平方畝で、清水の底や周囲にはご

ろごろした石があります。県埋蔵文化財センターの大野氏によれば、「平場は深さからして集落を作るにも十分な広さであり、過去に集落が存在していた可能性もある」という見解を出しています。

この平場の一角に女清水神社があり、舟木の大庭五左衛門家が別当となっています。この神社の祭

り日は旧暦の四月八日で、別当家では赤飯、生米、塩、酒を持参し、

水之恩恵を受けている集落の人たちと共に感謝しており、生米と塩を清水に捧げる風習を今でも守り続けています。

男清水は女清水と二百畝くらい

離れており、以前は湧き出る所が見えたのですが、現在は草木で覆われています。このすぐ前には男清水を祀っている神社があり、舟木の大庭喜右衛門家が別当です。

この二つの清水は水枯れすることなく、かんがい用水としてまた

地区の飲料水として貴重なものとなっています。なお、男清水の下

方に小田代遺跡があり、大庭時雄

さんが一畝ほどの珍しい石棒を発見し、自宅前に置いてあります。

話題いっぱい よちかどトピックス

冬に負けず頑張ろう 児童七人、元気に開校式——大台冬季分校

大琴小学校の大台冬季分校が十一月一日開校しました。
大台分校は昭和二十四年に開設しこれまで通年分校として開校、昨年度から冬季分校として開校しています。

人、五年生二人、六年生一人の男女七人で、このうち本荘市から委託を受け同市三ツ方森から二人の児童が通っています。また、ことは昨年からの二学期から三学期編成となり、教師も二人から三人に増えました。
開校式では畑山昭一教育長のあ



しっかり勉強することを誓った開校式

いさつや担任教師の紹介に続いて、佐藤正校長が「本校の友達と別れるのは寂しいでしょうが、三人の先生と家族のように仲良くし、しっかり勉強してください」と激励。七人の児童が、「算数をいっしょうけんめいがんばります」「下級生のめんどうをよくみます」などと、各々に誓いの言葉を述べました。
七人の児童らの冬季分校生活は来年三月まで続きます。

現代チビッコは漢字に強い？

パソコンやワープロなど映像文化の発達で漢字はなれが懸念されていますが、町教育研究所が十一月十七日、漢字に親しみ漢字の能力を高めようと「第一回チビッコ漢字大会」を有鄰館で開きました。

参加したのは三年生以上の町内小学生三百二十七人で、給食をすませスクールバスで会場に集合、開会式のあと学年ごと約三十分間「漢字の力だめし」(テスト)を受けました。出題した問題はふだん学校で習っている漢字の中から二十五問で、誤りの漢字を正確に書き直すというもの。テストが終



「漢字の力だめし」を受けるチビッコ

わり先生方が採点し終わるまで児童らは映画を鑑賞しました。
採点の結果百点の「満点賞」が百七十八人、八十点以上の「努力賞」が百三十四人で、閉会式で満点賞で八塩小三年の菊地和紀くん、努力賞で大琴小五年の石綿和洋くんが代表し賞状を受け取りました。
学校で習っている漢字とはいえ、ほとんどが八十点以上という成績は、チビッコたちの漢字力の強さを物語っているように思えました。

楽しくなごやかに：祖父母学級

八塩小学校PTAが十一月十六日、おじいちゃんやおばあちゃんを対象に「祖父母学級」を開き、学習発表やレクリエーションを通して祖父母と孫とのふれあい活動を展開しました。

この日午前中「孫からの伝言」と題し天王小学校長・保坂廣治郎氏が講演。保坂氏は孫に対するし

つけの甘さを祖父母らに警告しました。午後は児童らが祖父母に合唱やなわとびなどを披露した後、紙飛行機やパッチ、折り紙などを、祖父母に教わりながら作って遊びました。また六年生は祖父母と一緒にゲートボールを楽しみ、終始和やかなムードでほほえましい場面を展開させていました。



祖父母とゲートボールを楽しむ六年生

歳末たすけあい 運動実施中

十二月一日～三十一日

真梨子さんに優秀賞 日韓児童画国際交流展

由利青年会議所(猪股春夫理事長)が、韓国の梁山青年会議所と姉妹提携を結び実施している「日韓児童画国際交流展」に、本町二小学校から十数点出品したところ、一作品が優秀賞、七作品が入選しました。



阿曾真梨子さん

優秀賞を受賞したのは八塩小四年の阿曾真梨子さんで、真梨子さんは十月二十一日日本庄市役所で行われた表彰式に出席し、日本語と韓国語で書かれた賞状や賞品を受け取りました。以下入選者は次のとおりです。(敬称略)
小野和成(八塩四年) 小松陽介(同) 小松ひとみ(同六年) 遠藤幸寿(同) 遠藤学(高瀬四年) 小林由紀子(同五年) 古川久美子(同六年)

入居者が「こも編み」などを再現

東光苑
文化祭

町特別養護老人ホーム東光苑で十一月十一日から二日間、第四回文化祭が開かれ、入居者が不自由な手足を一生懸命動かしながら、また職員が仕事を終えたあとと少しずつ作り上げてきた力作約六十点が展示されたほか、職員による仮装行列や入居者家族の協力によるバザーなども行われ好評を博しま

した。また「ふれあい広場」では入居者が昔ながらの「こも編み」や「白ひき」を再現、訪れた人たちの関心を引き寄せました。このほか今年は岩手県江刺市指定文化財「広瀬人形芝居」の公演、映写会、演芸会など様々な催しが繰り広げられ、訪れた大勢の人たちを楽しませてくれました。



関心を引き寄せた入居者の「こも編み」の再現

寛治先生が東光苑に「大画面テレビ」プレゼント

町出身で病院経営の小松寛治氏（五五歳・本荘市在住）から、このほど町特別養護老人ホーム・東光苑に大型テレビとビデオデッキがプレゼントされました。

小松氏は宇戸坂出身で、本荘由利組合総合病院（本荘市）の副院長を務めたのち昭和六十三年から本荘第一病院（同）を経営、「寛



寛治先生から贈られたテレビを見る入居者たち

治先生」の愛称で町民に親しまれています。

プレゼントされたテレビは四十三インチの大画面で、百万円以上の高価なもの。東光苑ではこのテレビを、食事や集会の場となる介護センターに設置。入居者に「大きくて見やすい」など、喜ばれ利用されています。

春には小学一年生 新入学児童の健康診断

来春小学校に入学する子どもたちの健康診断が十一月二十二日有鄰館で行われ、保育園児ら六十七人が元気良く検査を受けました。

検査は視力、聴力、内科・歯科検診の順に行われましたが、順番を待ち切れない子どもたちは、お母さんの心配顔をよそに廊下などで大はしゃぎ。しかし、内科検診

で上半身はだかでお医者さんの前に並ぶ子どもたちの顔は神妙で、ワンパクぶりをしまい込んでいました。

来春入学を予定しているのは、八塩小二十一人、高瀬小二十九人、大琴小十七人の合計六十七人で、今年の新入学児童よりも二十六人少なくなっています。



お医者さんを前にワンパクぶりをしまい込む来年入学の子どもたち

東由利駐在所だより

年末年始は運転免許業務を休止

秋田県運転免許センターでは運転免許試験、更新等の業務を12月29日(木)から新年1月4日(水)まで、更新・再交付などの業務を12月29日(木)から新年1月3日(火)まで休止します。また本荘警察署でも運転免許関係の業務を同期間休止します。

冬期の二輪免許試験を休止

二輪運転免許試験は12月1日(木)から新年3月15日(水)まで休止となります。ただし指定自動車教習所卒業者並びに免許失効者で試験の一部免除の適用を受ける方については平常通り行います。

町剣道愛好会が善戦 「会員を募集中です」

第三十回芳賀・光山杯秋季剣道大会（11月5日・本荘南中）で本町剣道愛好会が第三位に入賞しました。準決勝では前年優勝の練成館と対戦し一対一、一引き分けという五分五分の試合を展開し、代表決定戦で惜しくも敗れるという善戦ぶりを見せています。

なお、同愛好会（会員五名）では会員を募集しています。連絡は☎六九・二一七七・長沼まで。



町剣道愛好会が善戦した芳賀・光山杯剣道大会

交通死亡事故ゼロ記録 千百十三日でストップ

十一月十三日、寺田・祝沢間の県道でバキュームカーががけ下に転落、助手席の人が車の下敷きになり死亡する事故が起きました。このため昭和六十一年十月二十七日以来続いていた交通死亡事故ゼロの継続日数は千百十三日でストップしました。

事故現場は道幅が狭く、無理な交差が原因でした。無理のない安全運転を再認識しましょう。



11月13日に起きた交通死亡事故

み

ん

な

の

ひ

ろ

ば



上通・谷口真規ちゃん(1歳)

「三人姉妹の末っ子ですが姉妹のなかでも一番大らかな性格で、人見知りしないせいかみんなにわいがられています。一歳の誕生日が過ぎ、病気やケガもなく元気に育っています」と祖母の幸子さん。



東由利の文芸

ゆりかご句会(十一月会から)

◆回覧板隣の角や虎落笛 佐藤正義(湯出野)

◆落ち葉踏みきて憎しみの失なえり 鈴木要(沼)

◆車過ぐ落ち葉はくるい舞うごとし 小笠原亮子(蔵新田)

◆湯治場の落ち葉かそけき月のぼる 阿部義直(沼)

◆みちしるべ傾く山路の落ち葉かな 遠藤トミコ(小倉)

◆転居して隣同志落ち葉掻く 小松慶次郎(高戸屋)

◆落ち葉して庭に陽を敷く大けやき 鈴木徳蔵(舟木)

◆老いの背に夕日をためて落ち葉掃く 遠藤モトミ(新処)

◆もがり笛きりりと朝の身つくろい 小松メサ(下小路)

◆柿の葉の一瞬に散る今朝の冷え 菊地常作(湯出野)

◆色のよき落ち葉をはさむ日記帳 小笠原トミ(蔵新田)

◆落ち葉焚き煙の筋の行くところ 阿部澄子(蔵)

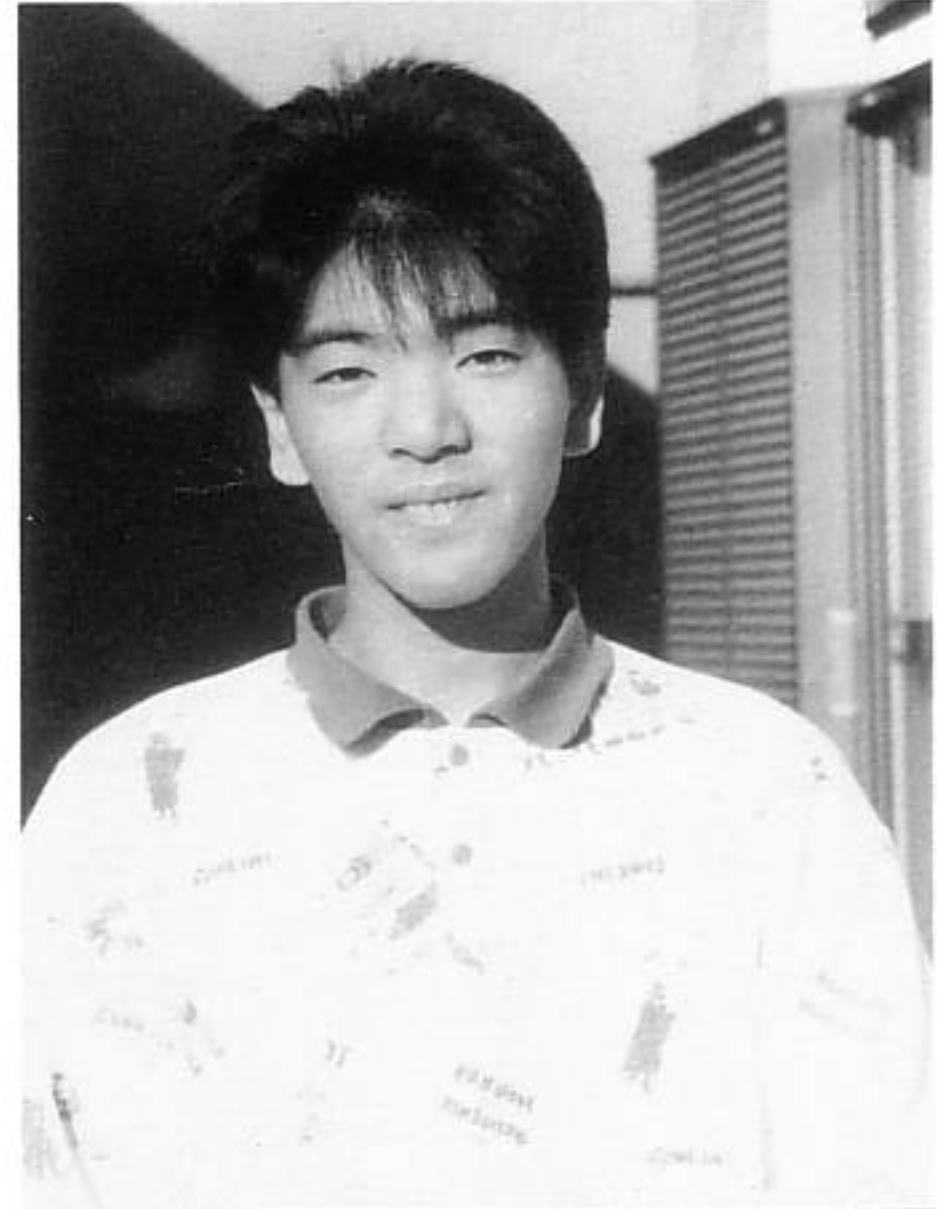
◆静寂の境内おち葉吹きだまり 小野貞子(蔵新田)

フットサル

「なんだかんだ言って一年中運動しています。野球、テニス、バレー、バスケット、バドミントン。今はバドミントンに力を入れています。」

す。ただ人数があまり集まらないのでここで告示します。火曜金曜七時より町有体育館でやっています。来てくれる人は誰でも歓迎です。

ヤングレポート 高橋 勝義くん(22歳) 宇戸坂・公務員



独自の方法で町有建物を利用して、町での生活を有意義にしようとしている高橋くん。なかなか、見習う所が多いのではないでしょううか? 必要なのはハードよりソフトという気がしました。

古き心を伝える ふるさとに 生きる詩

長持ち歌

蔵・阿部雪子さん(61歳)

蝶よナニヨー花よとヨー

ハーヤレヤレ

育てた娘今日はナニヨー晴れてのヨー オヤお嫁入りナニエー



いつ聞いても哀調と素朴そして人生の節目の別れの歌として胸打つものを感じます。四十年前私が嫁ぐ日、両親の喜ぶほほえみの瞳は心なしか濡れていました。この歌を耳にするとき、肉親との別れを昨日のこのように思い出すのです。感謝の恩返しは、家庭の円満が大事と自分の胸に言い聞かせ夢中で過ごしてきました。気づいたときは、孫十人のしあわせなおばあちゃんになっていました。

石渡力造



子からホンネ本音親から

八塩小四年・小野舞子さん

私が大人になってからやりたい仕事は、犬の美容師です。それは動物が大好きだからです。家族への願いは、とくにありません。

いま私ががんばりたいことは、クラブです。私は卓球クラブに入っていて、サーブをれんしゅうしています。なかなか思うようにいきません。せんばいの人から、「もっと力強く」と言われます。せんばいをこすことが目標です。



下小路・小野貞子さん

私が小学生のころより、宿題も多いし塾とかでのびのび遊ぶことが少ないように思いますが、毎日の積み重ねが大切ですから、少しづつ頑張ってくださいね。一つの目標を立て実行して行く気持ちは、大人になってからも大事なことです。努力して行ってください。

史幸兄さんが、スキーのコーチになってくれると言ってますので、今年はより以上スキーを楽しみたいです。心と体をきたえて、すてきな女性になるよう祈ります。



家事労働は月額十八万円

掃除、洗濯、炊事……と、家事は果てしなく続きますが、この役割を担っているのは、ほとんどの場合、主婦です。東海銀行が調べたところ、家事労働をお金に換算すると月約十八万円になるとか。

もっとも、これは具体的な労働に対する評価ではありません。精神的な意味を含めた妻の存在を金額で表し得ないのは当然です。

内助の功を認めて 相続税の軽減

長年二人三脚で支え合いながら暮らしてきても、不幸にして夫が

②

先立つというケースは多く、そうした場合、残された妻の生活は夫の遺産に頼ることになってしまうようです。そのため、妻としての内助の功などを考えて、遺産にかかる相続税の軽減（配偶者控除）が講じられています。

夫が亡くなって、妻が相続する遺産の額が八千万円以下の場合や、八千万円を超えていても「法定相続分」に相当する金額までであれば、相続税はかかりません。

ところで、法定相続分というのは

は、民法上、遺産分与の割合を定めたものですが、こうしなければならぬというものではありません。遺産をどうするのかは、死亡した人の遺言や遺族の間で決めていくものです。

一般的な配偶者の場合：

子供がいる場合、遺産の二分の一が妻の法定相続分になります。

また、子供はいないが直系尊属（死亡した夫の両親など）がいる場合は三分の二が法定相続分になります。

つまり、子供のいる夫婦で夫が死亡し、遺産が四億円だったとき、妻の法定相続分は二分の一です。すなわち、妻が相続した遺産が、二億円までは妻には相続税がかからないこととなります。

みんなの健康

朝食時代の栄養不足

みなさんの中で、朝食をとらずに学校や仕事に出かける人はおられますか？

朝食をとらないと第一に体のエネルギーが不足します。

前日の夕食をとってからの翌日の朝食までの間に消費されるエネルギーは三百〜五百キロカロリーで、これは午前中に通勤や仕事、学習などで消費されるエネルギーとほぼ同じ程度です。前日までの食事で体に多少の蓄積はあるものの、朝食をとらなければ、胃は空になり、エネルギーも少なくなり仕事や学習に対する活力がわなくなってしまう。

第二は、脳の働きが鈍くなるといことです。脳のエネルギー源は、血液中のブドウ糖です。朝食をとらず、これが減少すると脳の活動が低下して仕事や学習の能力が落ちます。

第三は、とらなかつた朝食分を昼、夕食で補うと肥満につながります。一日にとる食事の量が同じであれば、その回数が少ないほど問題になります。

なんでも食べられるこの時代に仕事や健康に悪影響を与えてまで朝食をとらない理由はないと思います。朝食抜きのみなさん、今一度自分の健康について見直してはいかがでしょうか。

（保健婦・高橋鈴子）

人間としての尊厳を認めよう

人権とは、一口にいえば「より幸福な人生を送るために、人間としてもっている当然の権利」といえます。ところが「自分の権利は主張し、相手に認めさせようとするが、相手の権利は認めない」というような最近の風潮は、少なからず他人の人権を侵害することがあります。「意識せずにやったこと」と言っても相手には心の傷となつて一生残るかもしれません。そこでまず、「他人にも人権があり、自分の人権を主張する権利

随想スッポット

私の出番



人権擁護委員
八嶋与四三さん

は、他人の人権を尊重する義務と論理的に結びついている」という人権の基本を、一人一人が自覚することが大切です。言葉を換えれば、人間としての尊厳を認めることだといえるでしょう。

十二月四日から十日までは「人権週間」です。わたしたち一人一人が人権について再認識し、明るく豊かな社会を作りましょう。

人権問題で困りごとや心配ごとがありましたら左記にお気軽にご相談ください。秘密は守ります。

阿部 寅静（蔵） ☎ 69 3 1 1 4
佐々木君三（大 琴） ☎ 69 3 2 3 7
八嶋与四三（家の下） ☎ 69 3 1 3 4

町民カレンダー

年末の交通安全県民総ぐるみ運動
12/11～12/25までの10日間



自分の身を自分で守ってみんな無事

11月★町のミニ統計

(10/1～10/30)

- 人口()は前月比
- 男 2,886人(△4)
- 女 3,018人(△9)
- 計 5,904人(△13)
- 世帯数1,434戸(△2)
- ()は1月からの累計
- 出生7人(55)
- 死亡5人(58)

- 転入3人(64)
- 転出17人(136)
- 結婚1組(9)
- 離婚0組(7)
- 火災1件(5)
- 救急車出動5件(82)
- ごみ処理量36t(376)
- 交通事故1件(7)
- 死者0人(0)
- 傷者1人(10)
- 飲酒運転0人(1)
- 酒気帯び0人(11)

郷土の野草

文・写真 小松忠正



57

コニシキソウ

(トウダイグサ科)

北アメリカ原産で、明治の中ごろ渡来した一年草です。各地の畑や庭などに見られ、茎は紅色を帯びた灰色で、地面をはつてのび、切ると白い汁が出ます。葉は対生し長楕円形で長さ一・五センチくらいになります。表面中央部に赤褐色の斑点があります。葉の上半分に小さい鋸歯があり、八月ごろ葉のわきに小さな花をつけます。蒴果(熟すれば縦裂して種子をまきちらす)をつけ、これには短い毛があります。ニシキソウより小形です。

善意

町社会福祉協議会に大坂幸一さん(館合新田)より金一封が、東由利中学校生徒会より「東中祭」出庫市収益金の一部として一万七千四百三十円が届けられました。

ありがとう

町民カレンダー

ピックアップ



町内に居住、または町内企業に勤務する三十歳以上の女性を対象に「家庭バレーボール交流大会」が十二月五日から来年二月二十五日までの期間(夜間)、健康増進センターで開催されます。現在参加チームを募集中ですので、冬期間の体力増進、健康維持などのため多数ご参加ください。詳しくは公民館(☎六九一二三二一)まで。

戸籍だより

(10/21～11/20届出・敬称略)

お誕生おめでとう

10/26 佐藤さやか(栄夫・二女)中通
10/26 佐藤 陽耕(耕治・二男)横小路
10/26 佐藤 陽耕(耕治・二男)横小路

ご結婚おめでとう

11/13 小野 一志 須郷田
大日向律子 雄物川町

ごめい福をお祈りいたします

10/21 阿部 悦子(44)ノブ長女野田
10/26 高橋 誠(58)ミツ子・夫(家ノ下)
11/8 小野 弘伸(2)仁・長男大台
11/13 大坂幸治郎(67)キエ・夫(館合新田)
11/16 大庭 キヨ(72)吉勝・母(舟木)

町民の声を町政に！
町長の面会日 今月20日

来年二月、東京で開催！ 特産物フェア

今年三月東京の三越池袋店で開催し好評を得た「東由利町特産物フェア」……。来年は二月二十日から三月四日までの十四日間、同じく三越池袋店と、三越銀座店で開催することが決まりました。

町内産の農産物などを中央で即売・PRし町の産業振興に寄与しようとするものです。在京の親戚、友人、知人などへの呼び掛けなど、ご協力をお願いします。

編集室から

▼NHKテレビ「ふるさとネットワーク」に五回目の出演が決まりました。話題がありましたらお知らせください。放送は十一月一日(月)午後六時三十五分からです。ご覧ください。

▼月平均五人ほどの町出身者の方から新規に広報紙の送付を依頼されますが、ついに残部紙の底がつき送付できなくなりました。このため秋田市在住者の組織で「秋田宿会」の十五人からも送付依頼が届いていますが、保留させていたためです。新年度からは予算を確保し増刷する予定です。今後の送付依頼については来年三月までお待ちください。お願いいたします。ちなみに町出身者など町外に発送する広報紙は千部を超えました。▼当初予算で消費税を計上しなかったため次号以降ページ数を減らすことになりそう。

